

<p style="text-align: center;">情報メディア論 Information Media Theory</p>	<p>(教員名) <北 克一></p>	
<p>知識情報基盤研究分野 中核科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>2 単位</p>	<p>2017 年度・後期</p>
<p>I 科目の主題</p> <p>現在の知識情報基盤を情報環境生態系(エコシステム)として捉え、そこに生成、流通、蓄積、消費されるコンテンツと情報=コンテンツについて、メッセージの観点から読み解く。</p> <p>また、情報環境生態系の持続可能性について、プラットフォームのビジネスモデルの観点からも、考察を進める。なお根底には、情報のデジタルへの収束とネットワーク流通が横たわる。</p>		
<p>II 授業の到達目標</p> <p>情報環境生態系(エコシステム)において、日々に新しいプラットフォーム形成や、そこでのメディアやコンテンツの生成、流通、蓄積、消費について、メディアの「編集意図」を読み解けること。</p> <p>また、背後に存在するビジネスモデルについても考察ができること。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <p>2016 年度は、メディアの生成、流通、蓄積、消費とその社会的受容について取り上げました。</p> <p>また、電子書籍、電子コンテンツ及び著作権などをトピックスとして扱いました。2017 年度は、また受講者と共に相談をしたいと考えます。</p> <p>なお、授業は教師が一方向的に講義するのではなく、インターラクティブに進行したいと考えています。授業進行に参加ください。</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容</p> <p>各自の将来の修士論文テーマについて、「仮タイトル」、「キーワード(3~5)」、5 分間程度のプレゼンテーションの準備をしてきてください。</p>		
<p>V 評価方法</p> <p>授業への参画態度、発表内容、課題レポート、討議などの評価を総合して評価する。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント</p> <p>可能な限り、アクティブラーニングの方式を取り入れたいと考えます。積極的な授業参加を期待します。</p>		
<p>VII 教材</p> <p>情報源を適時に指定する。また、プリント配布、URL 指定などを併せて行う。</p>		